

成分名	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物
英 名	Calrbazochrome Sodium Sulfonate Hydrate
CAS No.	51460-26-5 (無水物)
収載公定書	日局
A TOXNET DATABASE への リンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/51460-26-5

投与経路	用途
静脈内注射	安定化剤

以下については該当文献なし

1. 単回投与毒性
2. 反復投与毒性
3. 遺伝毒性
4. 癌原性

5. 生殖発生毒性

ICR-JCL 系妊娠マウス及び Wistar 系妊娠ラットを用い、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム (ADONA(AC-17)) の臨界期投与による催奇形性を検討した。マウス、ラット共に妊娠 7 日から 14 日に至る 8 日間経口又は腹腔内投与した。経口投与では 0.5%カルボキシメチルセルロースに懸濁した検体をマウス、ラット共に 1000 又は 3000mg/kg を、腹腔内投与では生理食塩水に溶解した 1.6%溶液をマウスには 800 又は 1600mg/kg を、ラットには 160 又は 800mg/kg を夫々投与した。マウスでは妊娠 19 日目に、ラットでは妊娠 21 日目に母獣を剖検し胎仔を摘出した。いくつかの外形及び骨格変異が対照群、投与群共に認められたが、これらの頻度が投与群で増加することはない。ADONA(AC-17)にはマウス及びラットに対し催奇形性はないものと思われる。¹⁾ (Fujii and Kowa, 1970)

以下については該当文献なし

6. 局所刺激性
7. その他の毒性
8. ヒトにおける知見

引用文献

1) Fujii TM, Kowa Y. The Teratological studies of Carbazochrome Sodium Sulfonate in Mice and Rats. 応用薬理 1970; 4(1): 39-46

PEC JAPAN SAFETY DATA